

アフガニスタンの沙漠を緑に変えた

中村哲医師を支えた看護師

藤田千代子 講演会



荒野に希望の灯をともす

～医師・中村哲 現地活動35年の軌跡～

写真提供：日本電波ニュース社

当日この映画（短縮版）を上映します



ナイチンゲールにあこがれ看護師に
中村哲医師に出会いアフガニスタンへ
それから30年
いま 中村哲医師の事業を受け継ぐ

講師：藤田千代子さん

日時 2024年3月23日（土）

開演 12:50（開場 12:30）

会場 川崎市国際交流センターホール

住所：川崎市中原区祇園町 2-2 電話：044-435-7000

募集

先着200名 全席自由席 1人 1000円＋送料 100円（申し込み方法は裏面）





用水路の通水試験に中村医師（左）と一緒に立ち会った藤田さん（中央）



アフガニスタンで凶弾にたおれた中村医師のお別れ会

藤田千代子さんは1988年ごろ、勤めていた福岡徳州会病院で、講演に来ていた中村哲医師に出会う。女性医療従事者を募る呼びかけに「マザーテレサのような仕事ができるかもしれない」と志願した。始まりはパキスタン北西部でハンセン病治療、やがて現地の言葉を覚え、看護部長として人材育成にも関わる。2000年アフガニスタンの大干ばつで、大量の難民がパキスタン側におしよせた。中村医師はアフガニスタンで井戸掘り事業を始める。2002年には荒廃した土地に用水路を引く「緑の大地計画」を発表。中村医師が土木事業にまい進するにつれ、ペシャワールの基地病院の院長代理になった藤田さんは病院の運営、日本人スタッフの調整などに追われ、資金集めや講演などで日本に帰ることの多い中村医師よりも、現地にいて活動する時間が長くなったという。用水路建設は困難の中で進み、2005年の最初の水路開通以来、荒廃地は着実に潤いを取り戻している。しかし2008年以降、アフガニスタンの治安悪化により、日本人スタッフ全員が帰国することになった。それ以降もペシャワール会は日本から現地事業体であるPMSの支援を続けており、藤田さんはたびたびアフガニスタンにおもむいている。※PMS（平和医療団・日本）

当日のプログラム

12:50 ~ 13:50

映画「荒野に希望の灯をともし」上映
～医師・中村哲 現地活動35年の軌跡～

14:00 ~ 16:00

藤田千代子 講演

チケットの取り扱いについて

- 入場料は1人1000円。
チケット送付手数料100円加算されます。
- 定員200名・先着順。
申し込み開始は2月1日（木）10時より
- チケットの売り上げは経費を除き全額ペシャワール会に寄付します。

チケットのお申し込み方法

- 川崎市国際交流協会
ホームページから [こちら⇒](https://www.kian.or.jp/gc/)
<<https://www.kian.or.jp/gc/>>



- 電話・044-435-7000（川崎市国際交流協会）
電話・090-9677-2205（かわさき国際交流民間団体協議会・山本）
- 直接国際交流協会の事務所にてお求め下さい（送付手数料なし）

地球市民講座として、2019年9月川崎に中村哲医師を招いて講演会をしました。3か月後に凶弾に倒れ、無念の思いをかみしめる。その後、元在日本アフガニスタン大使、現地ボランティア目黒丞氏、歌手の加藤登紀子さんを招いての追悼講演会をしてきました。中村哲医師の生き方から学び続ける企画を大事にしたいと思います。



お問合せ先・川崎市中原区祇園町2-2 川崎市国際交流協会 電話・044-435-7000